

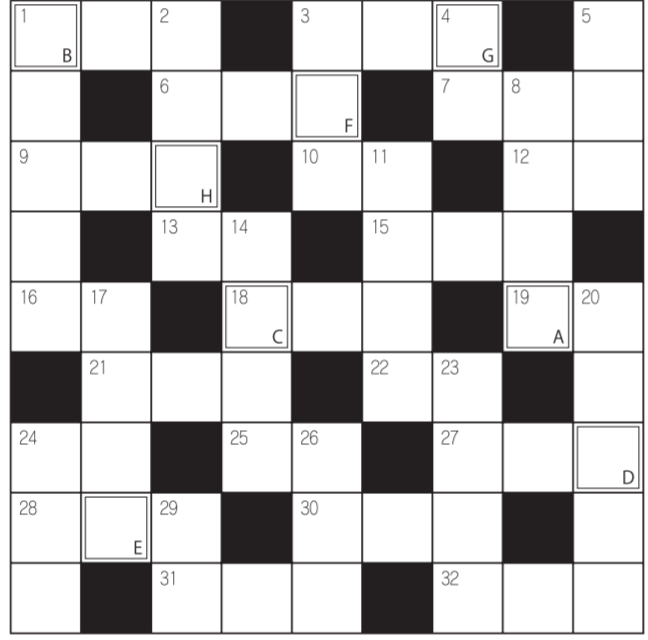
# 「復興バルーン」未来への夢のせて



5月、盛岡市立羽場小学校の運動会でJBAN（ジャパン バルーンアーティスト ネットワーク）支援の「復興バルーン」のイベントがあった。（バルーンスケッチ牛崎祥子さん提供）

## ★ヨコの鍵

- 1、家庭内貯金定番の場所といえば？
- 3、「現行犯で〇〇する！」
- 6、豚の〇〇〇をラーメンのトッピングに
- 7、〇〇〇・マゼンタ・イエロー
- 9、スパイラルな状態になっています
- 10、奈良公園にいる動物といえば？
- 12、外出のため、家を〇〇しています
- 13、出る〇〇は打たれる
- 15、酔っ払ってなんかいませんから！
- 16、居眠り運転、〇〇のもと…気をつけよう
- 18、2010年は食べるコレが品薄状態
- 19、昨日からみた今日は？
- 21、学年が上がると、コレが変わる！？
- 22、ケイリンは自転車、ケイバは？
- 24、パンダの大好物といえば？
- 25、損して〇〇取れ
- 27、力士が身につけています
- 28、丁寧な言い回し
- 30、栃木名産・とちおとめといえば？
- 31、薔薇を英語でこう言います
- 32、ペンキを塗ります



問題作成・寺崎美保子 <http://zeropage.jp>

クロスワード 人と道パズル

## 応募方法

●クロスワードパズルの答えA～Hを記入し、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞を手に入れた場所⑨今月号で一番興味をもった記事⑩その他のご意見・ご感想を官製はがきで明記し、〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1朝日三番町プラザ NPO法人人と道研究会、8月31日必着でお送りください。パズルの正解者には抽選で30名様に記念品をプレゼントします。

32号の正解は  
「タチアガレニホンジン」でした

# 読者の声

## ☆未来へ引き継ぐ

このたびの震災は、この世のものとは思えないくらいに体験できたが、(第32号)先祖先人が乗り越えてきた戦災、風水害、震災など幾多の困難があったことをかみしめることができた。平成の時代の地震、津波、原発の同時災害を乗り越えることと未来の日本人に「引き継ぐ力」を伝えたいと改めて思い直しました。「道の駅」が心の安らぎと勇気を与えてくれました。感謝。(茨城県日立市 パート職員・64歳)

## ☆千年校に負けず

道21世紀新聞を手でできてラッキー。今一番知りたいことが全部載ってていい。それに日本と外国を比べてみて、学校などいろいろ教えてくれたことないよ。いま初めて日本という国土はリスクだらけだと思いました。「住めば都」と思い、この土地、地域を住人達を愛して日本人としてしっかりと大地に足をつけ、千年校に負けず、生きていきましよう。(群馬県安中市 会社員女性 39歳)

## ☆被災駅に心痛む

私が初めて道の駅を知って好きになったのは7歳(小学校1年生)の時でした。ス



中央共同募金会と各都道府県募金会は、大震災発生直後から「災害義援金」募集と、被災地で活動するボランティアを資金面で支援するための赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」を開始。東北各県募金会を中心にボランティアセンター設置や運営に素早く配分した。6月までの約3カ月で両募金合わせて約365億円が集まり、毎年の赤い羽根共同募金からの積み立

て「災害等準備金」との3種類の資金をもとに初動対応した。災害等準備金の第1次分の支出だけで東北各県を中心に約1000の地域、団体に3億6700万円を配分。災害ボランティアセンターの設置や炊き出し、物資仕分け、安否確認、資材運搬、送迎などの運営員に有効活用された。



今後も仮設住宅の引越し手伝いや被災者交流など、息の長いボランティア活動が必要で、共同募金会の応援はさらに頼もしい存在となる。

## ☆道の駅ががんばれ

2011年のスタンプリーを5月から始めました。海岸沿いの道の駅は休業中になっていましたが、きつと復興するし、スタンプあるぞうて聞いたら、すべ行きたいです。道の駅は地元ドライブの大事な場所です。私みたいに地域の特産品好きにも大事です。道の駅、がんばれ!!



北海道の夏の始まりを告げる風物詩、ばんえい競馬が7月に開かれた。昨年は口蹄疫の影響で開催が中止となったが、復活した。写真は河東郡鹿追町の道の駅「うりまく」提供

タンブリー歴16年です。道の駅巡りができたのは父や6歳の兄のおかげです。今までに行つたところがある道の駅が今回の大震災で被害を受けたと聞き、とても心が痛んでいます。1日も早い復興を願っています。(福島県会津若松市 アルバイト女性・22歳)

## ☆気になった土葬

気になった、大切だと思っ

た(第32号の)記事は、「土葬の仮埋葬に建設業界も協力」です。そこには建設業界、そして関係の方々の迷いなるものが分かります。私が出来たことは、この埋葬作業に携わる方、そして埋葬される方の身内の方の気持ちを理解することだと思えました。(新潟県阿賀野市 会社員・41歳)

## ☆要保存の特集号

大震災の特集号(第32号)というべき復興への祈りと笑顔の絆の全文を隔から隔まで読みました。災害の歴史、道の駅「高田松原」のご活躍と苦勞、大津波のメカニズムなど私にとって、どの記事も未知のものであり、大切なものばかりで要保存です。「道21世紀新聞」が道の駅によっては何ほごきされずに放置されていくことを見かけます。残念です。一人でも多くの方に読んでもらえればとつけ加えます。(茨城県高萩市 無職・68歳)

## ☆物の有難さを知る

「千年校 耐えて見つめて春爛漫」の写真を見て思わず、「キレイ〜」と口に出してしまいました。こうした自然の明るさや美しさは、本当に私たちの心に安らぎと潤いを与えてくれますね。日本がいまこそ心をついに前向きに進んでいかなければならない時。節約、節電、節水など、もつと前からできていたことだと思います。こういう震災がなければ分らなかった物の有難さ。いつか子どもに伝えていきたいと思っています。(栃木県佐野市 主婦・30歳)

## ☆町内会でも防災

「道の駅 防災機能発揮」これは本当にいい記事だと思います。私も町内会でも防災訓練や自主防災組織の強化に向けて役員会で話し合っています。住民自ら一人一人が出来ることを確認していくことが大事だと思います。今回はこの頁もためになる内容でした。(札幌市 主婦・58歳)

## ☆見たい三春滝桜

旅行が趣味。道の駅きららで新聞(第32号)をいただきました。三春滝桜に感動しました。本物を見てみたい。今から旅費を積み立てておきます。被災者の皆様には一日も早く元の生活が戻りますよう、心から応援させていただきます

## ◆お便り募集

道の駅や道路などに関する読者の皆さまの様々な声を紹介しています。お便りはハガキで〒102-0075東京都千代田区三番町7-1朝日三番町プラザ NPO法人人と道研究会宛にお寄せください。パソコン・携帯からは、読者専用のメールBOX(dokusya@route-press21st.jp)へ。写真の投稿も歓迎。採用分には記念品をプレゼントします。なお、東日本大震災・特別編集号につき、読者アンケートとプレゼントはお休みします。

## ☆裏方努力に感謝

「建設業界 郷土愛を総力」でニュースや新聞記事で一般的にあまり取り上げない裏方の(影の力)努力が克明に描かれているので感心しました。(千葉県松戸市 無職)

# 道の駅文庫



「季刊地域」SUMMER2011 社団法人・農山漁村文化協会刊

本紙前号(第32号)の「道の駅文庫」で紹介した、柴田トヨさんの詩には本紙読者から沢山の反響が寄せられた。「道の駅文庫の柴田トヨさんの詩には感動&はげまされた。今こそ何が出来るかと考えながら過していきたくです」(京都府・女性)

「柴田トヨさんの『へびけなひ』を読んでいます。『元気を頂きます。普段の生活に無駄がないのか見直さない』と思うこの頃です。(京都府・主婦)

この読者からの便りにもあるように、日本人の多くが東日本大震災に向き合っている。自分は何ができるのか、を考え始めている。それぞれの人々が自分の暮らしを見つめ直し、「これでいいの？」と問い始めたのだ。また、東京や首都圏に暮らす人々の多くが、スイッチ一つで電気が流れる便利で快適な暮らしは、実は福島原発に依存していた事実を知らされた。私達は、震災や原発事故により暮らしを破壊された東北の人々の痛みを分かち合い、復興への願

いを共有しつつ自らの暮らしを変えて行かねばならないのではないだろうか。雑誌「季刊地域」では大震災・原発災害に取材した『東北はあきらめない』を特集している。この特集で計画的避難を余儀なくされた福島県飯館村の菅野典雄村長は、「飯館村の住民として生きるというのは家族や集落の人たち、家畜や自然とともに生きるという『こと』なのです」と語っている。それは、大震災に遭遇したと地域でも同様だと思ふ。私はこの村長さんの言葉の中に私たちが何を指して「復興」すべきなのか、その原点があるように思ふ。

また、岩手県陸前高田市で味噌・醤油を製造販売する会社八木沢商店の社長は、全てを津波で失ったが「人のつながりという最高の宝が残った」と言ひ、再生への一歩を踏み出した。南相馬市の桜井勝延市長は「南相馬が津波や原発災害を克服する世界的なプロジェクトのメッカ」となることを目指すと語る。日本の復興は東北から始まり

# おもしろ万葉集

奈良正



## 佐為王の即断即決!!

侍女の、心の叫び、を耳にした佐為王は、哀慟して、ただちに「宿直」を免除した。

夫を患慕し、会えない夜々を煩悶する女の痛切な心情を、敏感に感得した王は、即座にその任務を解いて、夫の元に帰えらせる。

佐為王の感動!! 即断即決の計りない!! その手際は誠に見事である。我が意を得たり!! と拍手喝采。歡喜と安らぎが湧き、湧く。

侍女夫妻のようごはは、如何ほどなりや!!

相手の立場・有様・心情などを把握・理解した「其感の思いやり」は、頼もしい。

澄んだ目と心で、全体と部分を直視・観察の上で、的確な判断・最速の実践!! これが真正正統の政治であり、為政者のすべきことであろう。勿論、私達も事に当たる時には、全く同じであるのだが……アレ、コレと、熟慮すべきことの多い「今日」である。

(万葉研究家)